



国際評価基準審議会 (IVSC) 評議員就任に当 たって

IVSC評議員

せ き ね あ い こ
関根 愛子

2020年10月に開催された国際評価基準審議会(International Valuation Standards Council: IVSC)の年次総会において評議員に選任されました関根愛子です。任期は3年で一度の更新ができることとなっており、前評議員(trustee)の山田辰己氏(公認会計士)から引き継いで活動してまいりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

IVSCは、評価額の算定に関する国際評価基準(International Valuation Standards: IVS)を開発する基準設定主体としての活動を軸とした、ロンドンに本部をおく国際団体です。その評議員会(Board of Trustees)は、元英国財務大臣のAlistair Darling卿を議長に、様々なバックグラウンドのメンバーで構成され、ガバナンス、戦略的方向性、財政、及び各ボードの任命と監督に責任を負い、取組を推進しています。

山田前評議員のこれまでの精力的なご活動により、この数年間で、本誌読者をはじめ、日本におけるIVSCの認知度も高まってきていると考えていますが、この機会に、私からも改めてIVSCとIVSについて紹介させていただきたいと思います。

IVSCは、1981年にプライベートセク

ターの非営利組織として設立され、IVSの策定及び維持並びに評価専門家の能力開発に寄与することを目的とし、70近い国の140を超える評価専門職業組織や機関等が加入しています。日本では、日本不動産鑑定士協会連合会が評価専門職業組織メンバー(Valuation Professional Organization: VPO)として、日本公認会計士協会は機関メンバー(Institutional Member)として加入しています。

IVSCには、現在、事業評価(事業、無形資産など)、有形資産(工場及び設備、不動産など)、金融商品という各専門分野に特化した3つの基準理事会が設置され、日本からは、事業評価理事会には岩田宜子氏(公認会計士)、金融商品理事会には北野利幸氏がそれぞれ就任しています。そのほか、各理事会の作成したIVS案を承認する基準レビュー理事会、会員との協力関係の強化とIVSの認知度向上を図る会員及び基準認識理事会、VPOを構成員として各国実務に関する助言を取り入れるアドバイザリー・フォーラムがあり、これらの組織が相互に連携しながら目的に向けた取組を行っています。

一方、IVSは、全ての種類の資産の評

価及び評価目的に適用される一般基準と、特定の種類の資産に関連する資産別基準から構成されています。資産別基準は、もともと1つの基準理事会で設定されていましたが、これは実務的な観点から有効な方法ではないと考え、2015年10月に組織体制が変更されました。現在では、上述のとおり、事業評価、有形資産、及び金融商品という3つの基準理事会をそれぞれの専門家で組成し、深掘りした議論や検討を行っています。なお、IVSは原則主義であるため、実務的なガイダンスの開発は各国のVPO等が担うことになっています。

経済活動がグローバル化する中、資産等の評価の分野でも国際的に統一された高品質の基準が策定され利用されるこ

とが重要であると考えております。そのため、IVSCでは、IVSのさらなる普及と評価プロフェッションの確立を目指し、アドプシヨンの定義と、IVSアドプシヨ認識マークの創設に関する検討も行っています。評価に関わる方には、この動きについても注目していただきたいと思います。

IVSCが取り扱う評価対象の資産等の範囲は多岐にわたり、その評価の目的は財務報告に限定されるものではありませんが、公認会計士としては、やはり財務報告の利用者にとっての資産等の評価の信頼性について考えていくことが重要であると考えております。その観点から、国際基準であるIVSを高品質なものとし、これを資産等の評価へ適用することは、国内外の投資家からの財務報告に対す

る信頼性を高めるための有効な手段となり得るのではないかと考えております。したがって、基準の品質を高めるとともに、基準に対する関係者の正しい理解を促進していくことが、IVSCの果たしていくべき役割であり社会貢献であると認識しています。

こうしたIVSCが果たす役割を考えると、その責任の重さをひしひしと感じて身の引き締まる思いがするとともに、評価業務の実務に携わる専門家の方々や諸団体のみならず、評価と密接に関連する会計・監査に携わる専門家の方々とも連携させていただきながら、活動を行っていくことが必要であると考えております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。